



これまで整備した バリアフリー情報の今後の活用について

令和3年12月

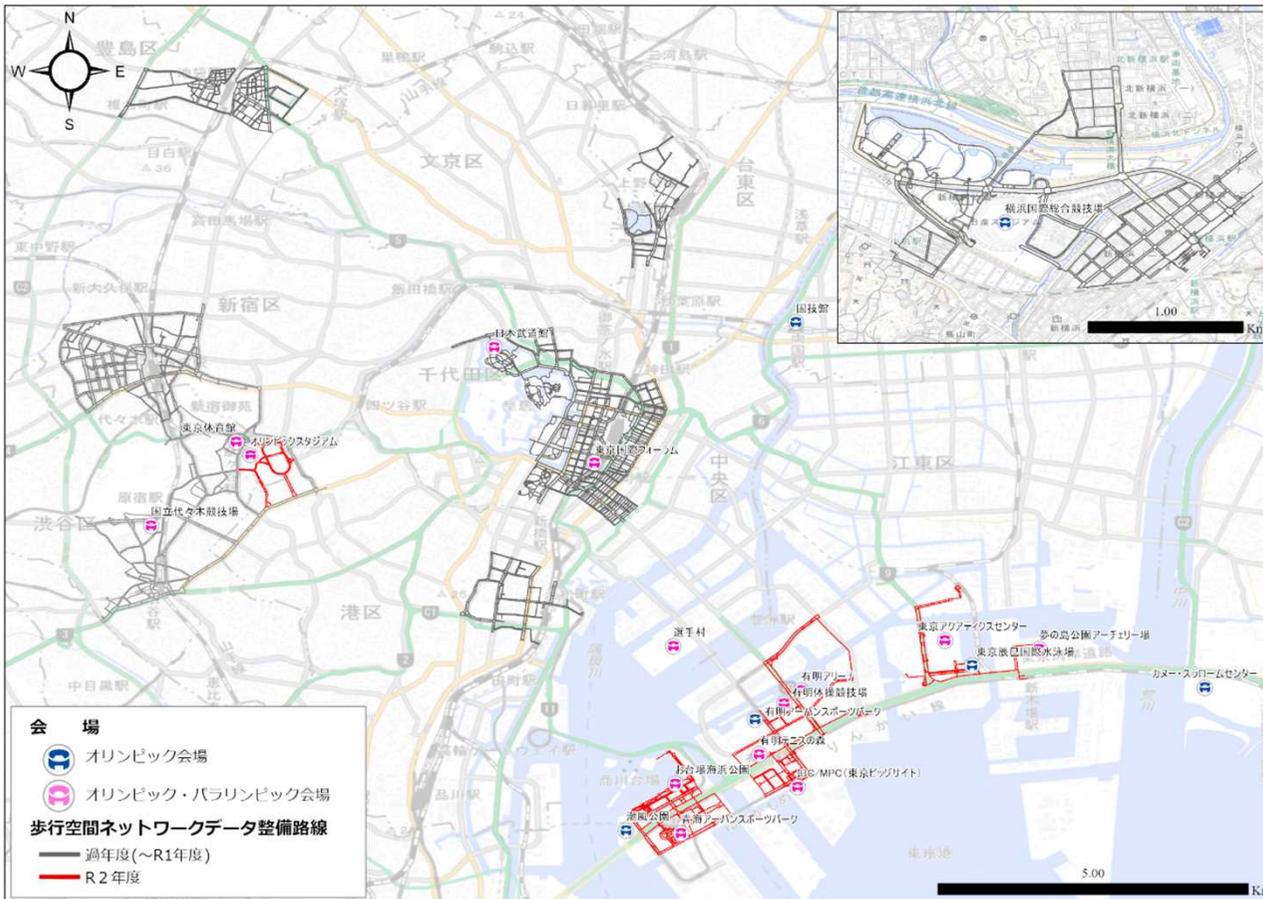
政策統括官付



○東京2020オリ・パラでの歩行空間ネットワークデータの活用

- ✓ 国土交通省では、2020年東京オリパラ競技大会に向け、競技会場周辺の最寄り駅と主要なルートを含む歩行空間ネットワークデータを整備し、オープンデータとして公開。
- ✓ 東京2020パラリンピック期間中に本データ等を活用したバリアフリー支援アプリ「Japan Walk Guide」がオリンピック・パラリンピック等経済界協議会から公開され、オリパラ選手をはじめボランティアスタッフなど、車いす使用者や高齢者を含む多様な参加者にご利用いただいた。

【2021年までに整備した歩行空間ネットワークデータ】



【報道発表(R3.8.19)】

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

同時発表: NTT 研究所、オリンピック・パラリンピック等経済界協議会

令和3年8月19日
政策統括官付

パラリンピック競技会場周辺のバリアフリー支援アプリ提供開始！
～バリアフリールート案内 Web アプリ「Japan Walk Guide」の配信が開始されます～

国土交通省ではこれまで、バリアフリー情報のオープンデータ化や標準化を推進してきましたが、この度、本省仕様に準拠し、NTT 研究所が開発した新たな Web アプリ「Japan Walk Guide」がオリンピック・パラリンピック等経済界協議会から公開されました。本省や経済界協議会がこれまで収集した競技会場周辺のバリアフリーデータが広く提供されることで、車いす使用者や高齢者を含むあらゆる人々がストレスなく、安心して会場周辺を訪れることが可能になります。

※本省のプロジェクトの詳細は別添参照

○ 本アプリは、東京2020パラリンピック開催期間中にご利用頂けます。(アプリ公開期間: 2021年9月5日まで)
アプリアクセス URL: <https://transit.2020.ntt/> (無料)

○ 国土交通省ではユニバーサル社会の構築に向け、障害者(車いす使用者等)や高齢者をはじめ誰もがストレス無く移動できる環境を実現するため、ICTを活用した歩行者移動支援サービスの普及展開を推進しています。今後も官民連携の元、バリアフリー情報のオープンデータ化・活用の取組みを推進します。

全体経路検索 ルート案内 正誤登録 混雑情報

「Japan Walk Guide」アプリ 利用画面

○ 競技会場周辺におけるネットワークデータ整備の目的

- ✓ 東京2020オリパラ競技大会に向け、競技会場周辺の最寄り駅と主要なルートを含む歩行空間ネットワークデータを整備し、オープンデータとして公開。
- ✓ 様々なサービスが創出されることを目的として、国において先行的なデータ整備・オープン化を行うとともに、第4回東京公共交通オープンデータチャレンジでのデータ公開を公共交通オープンデータ協議会や東京都と連携して実施。
- ✓ 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた競技会場周辺のデータ整備が完了。

○ 整備概要

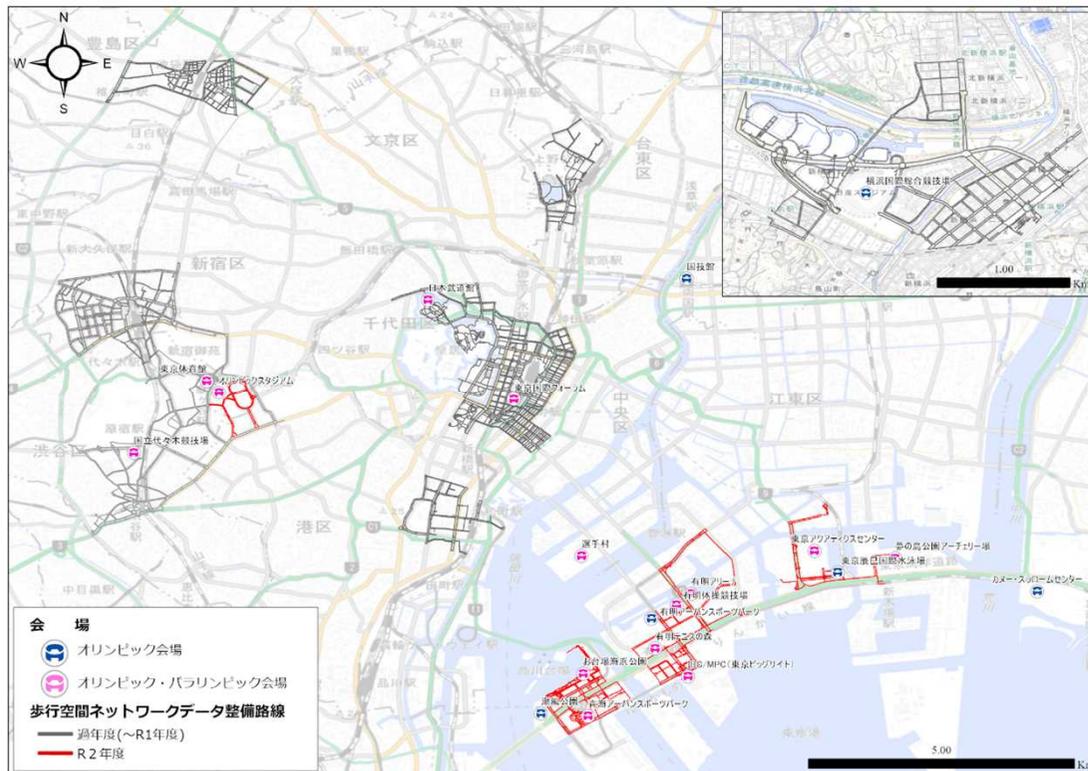
東京2020オリンピック・パラリンピック競技会場周辺の駅やターミナル駅周辺等、多くの歩行者の利用が想定される経路を中心に歩行空間ネットワークデータを約365km整備。協力自治体のデータ整備と合わせると、**約438kmを公開**。

整備エリア		整備内容	データサイト公開
新横浜駅周辺	横浜市	新規整備	2018年10月公開
新宿駅周辺	新宿区	新規整備	2018年10月公開
東京駅周辺	中央区・千代田区	データ更新（一部新規整備）	2019年 1月公開
池袋駅周辺	豊島区	新規整備	2019年 1月公開
上野駅周辺	台東区	データ更新	2019年 3月公開
大門駅周辺	港区	データ更新	2019年 3月公開
渋谷駅周辺	渋谷区	新規整備（一部データ更新）	2020年 3月公開
新宿駅周辺	新宿区	新規整備（一部データ更新）	2020年 3月公開
千駄ヶ谷駅周辺	新宿、渋谷、港区	新規整備	2020年 3月公開
有明・豊洲周辺	港区	新規整備	2021年 4月公開
国立競技場周辺	渋谷区・新宿区・港区	新規整備	2021年 4月公開



- 東京2020オリ・パラ競技大会期間中に公開したバリアフリー支援アプリ「Japan Walk Guide」は終了したが、これらの取組をレガシーとして継承することが重要。
- そこで、歩行空間ネットワーク整備仕様に準拠し、全国で運用されている「ココシルバリアフリーナビ」を活用して本バリアフリールート情報の提供を実施。
- 「ココシルバリアフリーナビ」は、歩行空間ネットワークデータの情報を効果的に活用して、ユーザの属性に応じた最適な経路検索、経路案内が可能。

【2021年までに整備した歩行空間ネットワークデータ】



【ココシルバリアフリーナビのイメージ】

①利用者の属性を選択

②通行可否の状況を個別に設定

③個人の状況に応じた目的地までの経路を地図上に表示



ココシルとは

- ココシルは、スマートフォン等を利用して観光情報やバリアフリーな道案内情報等、地域の特色に応じたきめ細かい情報を提供するサービス。2021年12月時点で全国の約60地域・施設で運用中。
- 観光客（外国人含む）向けの情報だけでなく、車いす使用者やベビーカー利用者など多様な人々に役立つ情報を提供。

ココシル® kokosil®

「まち」を元気にする、街歩き・観光アプリ
Application for sightseeing and strolling in town
that revitalizes "town"



<https://kokosil.net/>

導入事例



【参考】ココシルの主な機能

観光情報や防災情報、バリアフリー対応トイレなどの施設情報に加え、バリアフリーデータを活用することで、車いす使用者やベビーカー利用者への最適なルート情報を提供することが可能。

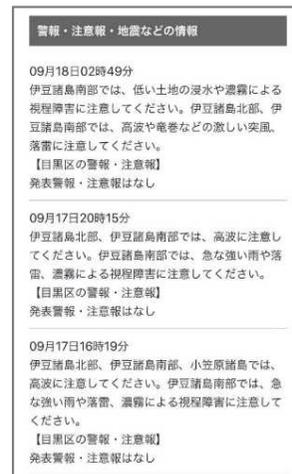
観光スポット・店舗情報の提供

- 登録されている観光スポット・店舗・施設などをカテゴリやキーワードを指定して検索し、情報を確認することが可能。
- 検索結果は、マップやテキスト・写真などで詳細な情報を確認することが可能。



防災情報提供

- 自治体の洪水・土砂災害などのハザードマップを提供することが可能。
- 気象庁や自治体が公開している避難所などのオープンデータを利用して、警報・注意報等のリアルタイム情報を提供可能。



バリアフリールート案内

- 歩行空間ネットワークデータを利用して、個人の特徴に合わせて、経路検索条件を設定することが可能。
- 設定した条件に基づき、出発地から目的地までの経路案内をマップ・音声で提供。



バリアフリー施設情報の提供

- 登録したバリアフリー施設をカテゴリや現在地からの最寄り施設を検索することが可能。
- バリアフリー情報はマップや写真・テキストで詳細な情報を提供。



○歩行空間ネットワークデータの活用推進に向けた今後のスケジュール

- ✓ 令和3年12月下旬から、新国立競技場を含む新宿・渋谷地区、東京駅周辺地区の歩行空間ネットワークデータを「ココシルバリアフリーナビ」アプリに搭載し、バリアフリールート案内を開始。残りの整備地区についても来年度5月頃までに順次アプリに取り込む予定。
- ✓ 歩行者移動支援の取組みに関する周知・広報活動を継続的に実施し、「ココシルバリアフリーナビ」アプリ以外のバリアフリー案内サービス等におけるデータ活用を推進。

【今後のスケジュール】

	R2	R3	R4	備考
東京2020パラリンピックにおけるデータ活用	競技場周辺の歩行空間ネットワークデータ整備完了	大会期間中のJapan Walk Guideによるルート案内を配信		
「ココシルバリアフリーナビ」アプリによるデータ活用		新宿・渋谷、東京駅周辺地区データを用いたルート案内を開始【12月下旬】	R4年度5月まで残り整備地区についても順次アプリへ反映	※今後のデータ整備に伴い順次サービス範囲を拡大
周知・広報活動			歩行者移動支援に関する取組みの周知・広報活動により、他のバリアフリー案内サービス等でのデータ活用を推進	* R3以降、継続して実施